

## Ⅳ. 大学連携の試み

# 大学連携「学びの杜」講座の単位化への取り組み

山 田 孝

### 1 はじめに

「学びの杜-新しい自分との出会い-」は、平成14年度より始まった名古屋大学連携講座の一つである。「学びの杜」では、中学生から高校生までもを対象に大学の最新の学問を直接研究者の方々から聞くことができる講座である。教科の授業の他に、様々な学習の場を提供して生徒ひとり一人が新しい自分を「発見」する契機とすることを目標としている。

昨年度は、研究グループ「大学連携部会」を立ち上げ、「学びの杜」の運営に取り組んだ。そして、「学びの杜」の単位化についても検討を重ねた。昨年度の取り組みとしては、単位認定の試みとしてTAの鶴見さんによる討論の授業とレポート課題の提出という試行を実施した。その上で、単位化の前提としては、①連続した講座の開催。②一定のテーマ性を持った講座内容にすることの必要性が確認された。

昨年度の検討により、今年度は一つのテーマを持って、連続性の高い講座を開催することとなった。前期は、7月の短縮授業期間中に4回の連続講座を開催した。環境学研究科の小松尚先生にお願いして、レクチャー形式の講座1回とフィールドワーク2回、そして連続講座のまとめとして一日かけて作品を制作する講座を行った。後期は、法学研究科のプロジェクトと連携して12月の短縮授業期間中に4回の講座を開催した。

これらの連続講座は、参加した生徒にも好評であり一定の成果をあげたように思われる。また、担当した先生方にも好評で、大変満足して講座を終えられている。こうした成果を基に、平成17年度より単位化を前提とした「学びの杜・学術コース」を4講座開講することとなった。これは、教育発達科学研究科の教育研究とも共同して、将来のAO入試を含めた新しい入試制度の検討の一環としての研究を行うものである。また、従来の様々な大学の最先端の学問に触れる「学びの杜」は「総合コース」として続けていく。

まず、以下に今年度の前期の環境学研究科の連続講座と後期の法学研究科の連続講座の概要を説明し、来年度の単位認定「学びの杜・学術コース」についても触れることとする。

### 2 環境学研究科「連続講座」

今年度は夏の連続講座として名古屋大学環境学研究科の小松尚先生に連続講座の企画運営をお願いした。講座1回とフィールドワーク2回、作品制作1回を企画した。生徒は基本的には、自由参加として、1講座のみの参加も認めた。作品制作については、一日通しての参加を義務づけた。

「学びの杜連続講座」の講座紹介文より抜粋

#### (1)連続講座テーマ「附属学校のあるまち」

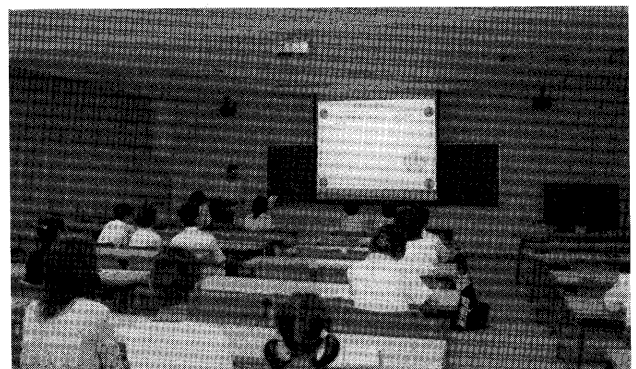
講師：名古屋大学 環境学研究科

小松 尚 先生

・7月13日(火) 午後2時～4時 第一総合教室

講義：「附属学校のあるまち・～千種区ってどんなところ？」

緑豊かで歴史があり、住宅地、学校、商業地といろんな顔をもつまち、千種区。千種区のトリビアに迫ってみよう！



・7月14日(水) 名大東山キャンパス内  
フィールドワーク1：

「附属学校のあるまち・～東山キャンパスってどんなところ？」

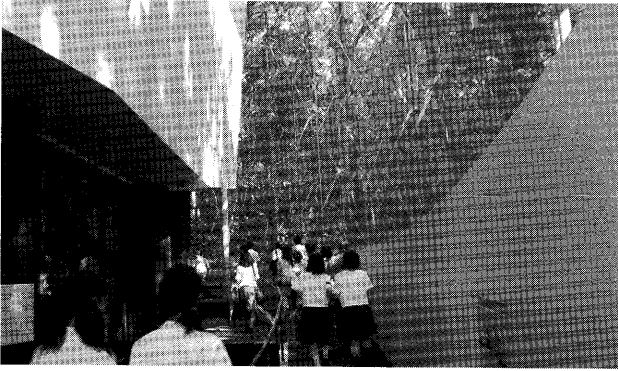
普段見ている東山キャンパス。でも「なんでこうなっているの？」という疑問がきつとあるよね？ キャンパスを歩き、野依先生のノーベル賞記念建物も見ながら東山キャンパスの魅力を紹介し、疑問に答えます。

見学コース

鏡池 → 中央図書館 → 豊田講堂 →

野依記念学術交流館 →

野依記念物質科学研究館 → 四谷通り



野依記念学术交流館の内部にて



中央図書館の横にて



野依記念学术交流館前で説明する小松先生

その後、揚輝荘へ入り説明を受けます。  
揚輝荘の会 理事・事務局長 加藤允孝 さんより  
・7月17日（土） 午前10時～午後3時まで（途中お昼時間あり）

作品制作 「附属学校のあるまち・～まちに提案してみよう」

ここにこんな場所があったらいいな、と思ったことはありませんか？

簡単な工作で、みんなが集まる小さな〇〇〇をつくってみます。〇〇〇は当日までの秘密です。工作が好きな人もそうでない人も歓迎！



揚輝荘の前で



作品の制作風景

・7月16日（金） 覚王山フィールドワーク実施  
フィールドワーク2：

「附属学校のあるまち・～覚王山ってどんなところ？」  
千種区の歴史を知るのには欠かせない覚王山。最近ではユニークなお祭りでも有名ですね。でも、普段入れない素敵な場所があること知ってる？

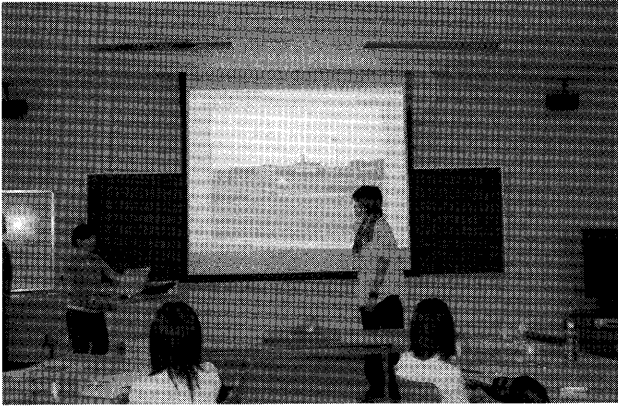
地元の方に案内していただいて、みんなが知らない覚王山へでかけよう！

覚王山商店街 → 日泰寺 →  
五百羅漢 → 奉安塔  
千種郷土史学習会 会員  
加藤守男 さんの説明

(2)連続講座「附属学校のあるまち」の概要について

第1日目の講座「附属学校のあるまち・～千種区ってどんなところ？」では、映像を使って千種区の歴史や概要についての講義を行った。内容的には、千種区のトリビアというようにわかりやすくお話をしていただいた。その中で、デザインの極意である、「用、強、美」等についても講義され、4回の講座の基調となる講座であった。また、第1回の講座内容を受けて、次の名古屋大学キャンパスフィールドワーク、覚王山フィールドワークと繋がっていく。そして、これらの講座のまとめとして、実際に作品を作ってみるのである。

第2日目の講座は、名古屋大学キャンパス内フィールドワークである。



生徒の発表風景

本校のすぐ東側に隣接する鏡池の説明から始まって、中央図書館、名古屋大学博物館、豊田講堂、野依記念学術交流館、野依記念物質科学研究館とキャンパス内を回りながらそれぞれの建物の構造や歴史などにも触れながらフィールドワークを行った。名古屋大学のキャンパス内にありながら、附属学校の生徒も名古屋大学のキャンパスについてはわからないことがたくさんあった。

第3日目の講座では、キャンパスから外に出て本校から1キロほど離れた覚王山という町の近辺でフィールドワークを行った。覚王山という町は、閑静な住宅街の中にあり、日泰寺という日本とタイの交流によりつくられたお寺の門前町という位置でもある。また、近隣には揚輝荘という戦前にアジアからの留学生の寄宿先となった建物も残っている。これらの地域をフィールドワークし、第1回で学んだ千種区についての理解をより深める



生徒の作品



生徒の作品

ことになった。この企画では、千種郷土史学習会会員加藤守男さんと揚輝荘の会理事・事務局長加藤允孝さんより説明をいただいた。普段は入ることのできない建物の中にも入ることができ、生徒にとっても感動的な企画であった。また、地域の身近な歴史にも触れることができた。

第4日目の企画は、これまでの講座を受けて、実際に名古屋大学バス停にふさわしい自分がデザインしたバス停を製作してみたことである。作品制作の具体的なテーマは、「名古屋大学のバス停をデザインしよう」である。各自で材料を持ち寄り、立体的なオブジェを制作するのである。今回は、1日をかけて作品を作り、その作品をデジタルカメラで撮影して実際の名古屋大学のバス停の風景の中にはめ込んで品評会も行った。

実際に名古屋大学の風景の中にはめ込んで作製した写真が次のものである。

### 参加者の感想より

#### 第1回 学びの杜 感想 2004. 7. 13 (火)

##### \*おもしろかったこと、印象に残ったこと・感想

- ・DVD。名古屋市中の千種区の位置付け。わかりやすく話していただいて、よかったです。学生に戻った気分でした。(保護者)
- ・いろんな角度から千種区を知ることができて、改めて素敵な区だと思った(保護者)
- ・名古屋大学の広さがわかったこと。千種区の位置付け“なだらかな丘陵地 “ 華やかな・・・”っていうのは・・・?と思った。千種区は私が名古屋で唯一関わりのある区なのですが、歴史は結構浅いんだなと思いました。(高2 女子)
- ・都市計画を大きさ(数字)から見ているところ。千種区の大きさ。大学を建築学科にすすみました。自分の学んできた都市計画とは見方が違うところに共感をいただきました。大学への進学の時、建築学にすすむか数学にすすむかで大きくなやみましたが、今でもこれは私の中での問題です。学生時代にいろいろな講座にふれて選択できる環境が素晴らしいと思います。(保護者)
- ・私は熱田区在住です。生まれ育ったのは大阪市です。千種区のことにはあまり知らず、東山キャンパスがあるという知識しかありません。ですから、先生から聞くお話はすべて興味がありました。明日は東山キャンパスが探検できるという事が非常に楽しみです。(保護者)
- ・最後のおまけのビデオ。千種区の歴史。内容がこくて面白かった(中3女子)
- ・名古屋市の大きさがわかって思ったより小さいんだと思いました。おもしろいDVDが見れてよかったです。(中2男子)

- ・名古屋市の人口や千種区の人口、名古屋ドームと名大キャンパスと比較すると、かなり違うということが印象に残りました。最後のDVDがすごく、迫力もあったし、おもしろかった。(中1 女子)
- ・最初はくるのがいやだったが、やってみてとてもおもしろかった!! (中1 男子:母に参加しなさいと言われて参加したそうです)
- ・DVDがおもしろかった(中1 男子)
- ・中学や高校の数(中1 男子)
- ・都市計画については、以前から興味をもっていたので、とても、おもしろかったです。自分の町がこれからどうなっていくか楽しみだなと思いました。(高3 男子)
- ・千種区の緑の多さにびっくりした。DVDがすごかった。(高3 女子)
- ・最後のおまけのDVDで四角で囲んでいったこと。今まで全然知らなかった“名古屋市の人口”だとか“千種区の面積”などを分かりやすく教えてもらい、ためになりました。(中1 男子)

\* 講師の方へのメッセージ

- ・あのフィルムください(中1 男子)(あえて原文のまま載せました)
- ・むずかしい話だったらと不安でしたがとても親しみやすく楽しかったです。明日の質問が……。何も知らない……。 (保護者)
- ・明日、楽しみにしています。今日はありがとうございました。(保護者)
- ・名大は広いと思っていましたが、やっぱり広い……。おもしろかったです。比較の仕方などが。(高2 女子)
- ・自分、受験生なので、塾などでなかなか参加できません。しかし、後輩たちがより建築に興味をもって欲しいのでよろしくおねがいいたします。(高3 男子)
- ・建築家は建物について知るだけじゃなくてまちのこともしっかり知っていないとだめなんですね!

2004年度 学びの杜 第2回 感想 2004. 7. 14  
第2回「附属学校のあるまち

～東山キャンパスってどんなところ?」

小松尚先生

\* 印象に残ったこと・感想

- ・野依記念館が印象に残った。名古屋大学の方へは入ったことがなかったから、いろんなことがわかって楽しかった。めずらしい物がたくさんあった。(中1 女子)
- ・野依記念館のガラスばりの一面のきれいさと、内で何か、工業のすごいことをやってる、コンピュータや見たことのない機械があるひみつの部屋が印象に残った。野依記念館がとてもきれいだった。私もあんなインテリアがほしいなあ~と思った。それと、たくさん

の緑に囲まれてキャンパスは広くて迷うけど、とてもすてきなところだなあと実感した。(中1 女子)

- ・野依学術交流館。こんな建物があるなんて知らなかった。他、普段入れなさそうな所に入れて面白かった。その付近が45%以上に建造物になってはいけないと聞いて、緑が多いのも納得した。いろいろな知らない所をまわられて良かった。地震対策や信号の青色発光ダイオードとかは、よく注意しないと、意識するものではないから、新たな発見ができて良かった。(中1 女子)
- ・野依学術交流館が印象に残った。自然の中のゆったりした所で交流できそうですごくいいから。今日初めてキャンパスという意味を知れたので、今日かぎりその点で笑われることはないと思う。
- ・豊田講堂からの眺めと野依記念館の中と物質科学研究会の中はすごいと思った。キャンパス内にも大学生だけではなくて一般人も利用できる場所があると聞いたから行きたい。(中1 男子)
- ・野依学術交流館が印象に残った。周りが自然だった。ノーベル賞級の人の住居だったから。(中1 男子)
- ・豊田講堂のデザインについて「そんな考えがあったのか!」と思い、門なんて言われるまで気が付かなかったらなと思いました。いろいろな話が聞け、楽しかったです。(中1 女子)
- ・豊田講堂がゲートのイメージだったことが印象に残りました。野依記念館のイスがいろいろな形で印象的でした。(保護者)
- ・古川さんが1億出すといったら妻がもう1億で2億にしろと言い、それを聞いた人が喜びのあまりくつを忘れた話が印象に残った。キャンパスは初めて半分回ったので、あとの半分も回って欲しい。(中1 男子)
- ・野依学術交流記念館が印象に残った。その建物がノーベル賞をとるような人の住居に入ってとても感動的でした。(中1 女子)
- ・野依記念館では、自然の中にいる感じで、気持ちが和らぎました。(中1 女子)
- ・豊田講堂の建設の意味を知ったり、古川博物館のエピソードが印象に残った。耐震改修工事やスロープの有無など、建設の今昔の特徴が見えた。特に野依記念館は現代!!って感じた。(バリアフリーとか気をつけていたし)(高2 女子)
- ・名大キャンパスの歴史(中央に市道がある理由など)をいろいろと知ることができおもしろかった。(保護者)
- ・野依記念館がすばらしかったです。森の中のような気がしました。名大の広さに感動しました。(保護者)
- ・建物のいわれや構造のしくみなど、色々知ることができて、非常に楽しく勉強できた。特に野依記念館、研

- ・ 究館はとても興味がわきました。(保護者)
- ・ 野依記念物質科学研究館の建築のしかたが変わっていて印象に残った。(中1男子)
- ・ 豊田講堂の高いところはすずしかったこと。野依記念館にはいろいろな設備があったことが印象に残った。(中1男子)
- ・ 豊田講堂からの景色が印象に残った(中1男子)
- ・ 暑くてたいへんだったけど、楽しかった。名大の中だけでも、いろいろあるんだなと思った。(中3男子)

\* 講師の方へのメッセージ

- ・ 今日は暑い中、どうもありがとうございました。キャンパスの中を見て、緑の多さや野依記念館のきれいさが、とても印象に残りました。これからもこういう機会に参加していこうと思います。(中1女子)
- ・ ありがとうございます。面白かったです。(中1女子)
- ・ また、このような建物の歴史について話を聞かせて欲しいです。(中1男子)
- ・ 普段入れない施設に入れてとても楽しかったです。いろいろな話が聞け、とても楽しかったです。(中1女子)
- ・ 暑い中でも、とても楽しかったです。(保護者)
- ・ 東山キャンパスの裏話(?)をいろいろと教えて下さって、ありがとうございます。青色発光ダイオード、四谷通りの話などで、おもしろかったです。野依記念館は、想像以上の現代ふうで、圧倒されました。(無機質っぽいというか)とにかく、おもしろかったです。(高2女子)
- ・ 長い間キャンパスを出入りしていましたが、まだまだ知らないこともいろいろあり、たいへん興味深く楽しく過ごさせていただきました。ありがとうございます。(保護者)
- ・ とてもわかりやすく楽しく聞かせていただきました。
- ・ 先生のお話は、私たち凡人にもよく理解できるように講義していただき、とても勉強になり楽しいひとときでした。ありがとうございます。(保護者)

2004年度 学びの杜 第3回 感想 2004. 7. 16  
第3回「附属学校のあるまち

～覚王山ってどんなところ?」 小松尚先生

\* 感想

- ・ 揚輝荘座敷の中の見学がとてもおもしろかった。(中1男子)
- ・ 日泰寺の五重の塔と本堂、揚輝荘の中が印象に残った。知らない場所に行けて、楽しかった。(中1男子)
- ・ 聴松閣の中のでづくりが特に印象に残った。外から見てもきれいだけれど、中のづくりには驚かされた。階段やかくしのとびら?がすごいと思った。奥の方に続く

廊下は、夜一人で歩くとかなりこわそうだった。聴松閣の様々なすごいつくりを考えた当時の大工さんは、かなり発想豊かで、想像豊かな人だったのかなあと考えた。(中1女子)

- ・ 揚輝荘をめぐって歴史をさぐることに残った。また機会があれば、紅葉したところに行ってみたい。日泰寺の、タイとの交流などがわかってよかった。揚輝荘をもう少しゆっくり見たかった。(中1男子)
- ・ 揚輝荘のイギリス、インド、中国の部屋がそれぞれの国がらを出してあってよかった。日泰寺のもっと奥まで入りたかった。(中1男子)
- ・ 揚輝荘の地下室の壁画が印象に残った(中1男子)
- ・ 松坂屋の最初の社長が建てた別荘がとても印象的でした。とても複雑なつくりの別荘はいくつも部屋があり、とても古い時につくられた家には見えませんでした。コンサートで音がまわりにひびくように、鉄の棒がはりめぐらされているという工夫もおどろきました。(中1男子)
- ・ 聴松閣に入って中を見て説明を聞いたことが印象に残った。いろいろな歴史建造物が見られてよかった。(中1男子)
- ・ トンネルなどからどこか戦争のおもかげを感じた。(中1男子)
- ・ 聴松閣の中に入っているいろいろな部屋に入っているいろいろなミステリーがあったことが印象に残った。今日は暑かったけど、加藤先生や佐藤先生(郷土史会)の指導で、初めて覚王山のことを知ることができた。(中1男子)
- ・ 先生が一生懸命話してくれたことが印象に残った(中1男子)

\* 講師の方へのメッセージ

- ・ いろいろな話をしていただきありがとうございます。またお会いできたときにいろいろな話をできたらうれしいです。(中1男子)
- ・ 詳しい説明ありがとうございます。よくわかりました。(中1男子)
- ・ 今日めった暑くて蚊がとても多い中、どうもありがとうございました。今日とてもおもしろかったです。(中1女子)
- ・ 日泰寺の歴史を教えてくださいありがとうございます。とても興味深いお話でした。
- ・ また、機会があったら中まで入っていろいろみたいです。(中1男子)
- ・ とてもわかりやすい説明ありがとうございます。(中1男子)
- ・ いろいろな説明をわかりやすくお伝えくださり、ありがとうございます。(中1男子)

2004年度 学びの杜 第4回 感想 2004. 7. 17 (土)  
第4回「附属学校のあるまち～まちに提案してみよう」  
小松尚先生

\* 感想

- ・短い時間で作品の製作、発表までできて非常によかったと思います (保護者)
- ・最初は何を作るのかなんて考えていなかったけれど、やっていくうちに決まっていって楽しかったです。人形を作ったことが印象に残った (中1女子)
- ・楽しかった (中1男子)
- ・いろいろなバス亭が見られて楽しかった。(高3女子)
- ・自分で作ったのは初めてだったので、自分の作品第1号です。(高3男子)
- ・バス停を作るのがおもしろかったです。次はまた違ったものをつくりたいです。(中1男子)
- ・デザインの極意(用、強、美)がわかったので建物など見るときに、意識してみたいと思いました。
- ・バス停を作ったことと、みなさんの作ったバス停を見たことが印象に残った。バス停をつくっている時に、用、強、美を考えて作ったのですが、あまり、用にも強にも美にもあてはまってないなあと思いました (中1女子)
- ・模型を作ったのは初めてなのですが、自分の自由を作ることができたので、楽しかったです。また、機会があればバス停以外の模型もつくってみたいです。(中1女子)
- ・用、強、美に気を付けて作ったのはむずかしかったけれど、考えて作ったのがおもしろかった。夏休みにもいとことまた、模型をつくってみたいと思いました。(中1女子)
- ・デザインする時に用、強、美に気を付けることを教えていただき、考えやすくなりました。最初はどうなることかと思いましたが、とても楽しくお話を聞かせて頂きとてもためになりました。参加して本当によかったと思います (保護者)
- ・バス停の製作と写真にとったことが印象に残った。予想外のおもしろさに驚いた。また同じようなものがあったら参加したい (中1男子)
- ・組み立てるのが楽しかった。

\* 講師の方へのメッセージ

- ・4回ありがとうございました。(中2男子)
- ・建築系の講座は時間がかかるものですが、ここまで時間をかけてもらってありがたいです。(保護者)
- ・模型作れて楽しかったです。(高3女子)
- ・2日しかいけなかったですけど楽しかったです。(高3男子)
- ・4講座ありがとうございました。(中1男子)
- ・3日間受講させていただいて、それぞれ勉強になって

とても楽しかったです。(保護者)

- ・バス停を作るのがとても楽しかったし、おもしろかったです。(中1女子)
- ・バス停作りには参加していませんけれども、とても楽しかったので、1～3回も出ておけばよかったと悔やんでいます。また近いうちにおこなって欲しいです。(中1女子)
- ・学びの杜に参加して全部楽しかったです。(生徒の妹)
- ・とても穏やかにお話してくださり、分かり易かったです。ありがとうございました。千種区の事、名大の事も今までと違った見方ができそうです。4日間の内3日間参加させて頂きましたが、とても楽しくためになりました。子どもがデザインに興味があるので、また機会があれば是非参加したいと思います。(保護者)
- ・講義がわかりやすかったです。(中1男子)
- ・4日間ありがとうございました。(中1男子)

### 3 法学探究講座

「学びの杜連続講座」の講座紹介文より抜粋

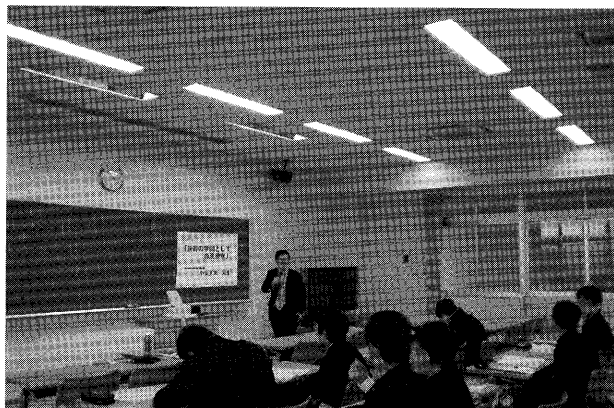
(1)テーマ「説得の学問としての法律学」

講師：中東正文 先生 (法学研究科助教授)

☆第1回：12月14日 (火) 14時～16時

\* 講義内容

学問の基礎にあるのは、「なぜ？」という単純な質問である。例えば、「なぜ、自動車は左側通行なのだろうか？」という問いもあれば、「なぜ、自動車にはスピード制限が課せられているのだろうか？」という問いもある。これらの問いに裏付けられたものが「法」という社会契約である。この2つのルール of the 性質が異なることに気づくであろうか。こういった話を、楽しみながら体感することにして、最終的には、私の専門である商法(企業に関する法律)における最先端の議論にも、アプローチすることにしたい。受講者には、積極的な参加が求められ、どんどん自分の意見を発言することが期待される。あと、童謡の「桃太郎」を元気に歌うことができるように、練習してきて下さい(3番まで)。



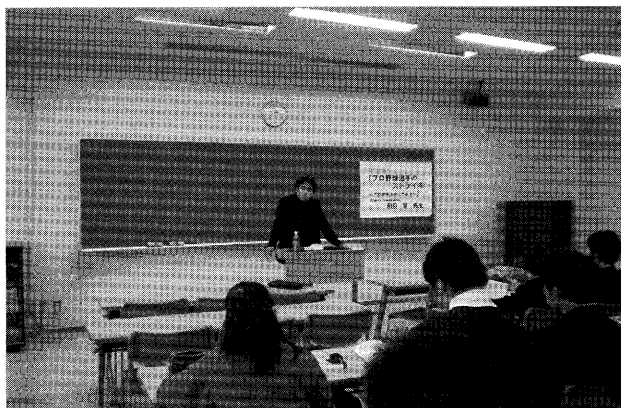
(2)テーマ「プロ野球選手のストライキ  
—プロ野球選手は労働者か」

講師：和田肇 先生 (法学研究科教授)

☆第2回：12月15日 (水) 14時～16時

\* 講義内容

9月にプロ野球選手会がストライキを実施した。その結果、プロ野球のあり方が、大きく変わろうとしている。これだけストライキは大きな影響を及ぼすのであるが、ストライキをめぐる様々な意見が闘わされた。プロ野球選手が本当にストなどできるか。彼らは労働者なのか。会社は損害賠償を請求できるのか。等々。こうした問題について、私の専門である労働法からアプローチしてみたい。



(3)テーマ「賢い消費者 —カードの便利さと怖さ」

講師：藤田哲 先生 (法学研究科教授、弁護士)

☆第3回：12月16日 (木) 14時～16時

\* 講義内容

約束は守らなければならない。人間として当たり前のことだ。人と人との契約は、約束の最たるものだ。いったん契約書にサインした以上、気が変わっても簡単に取りやめることはできない。いったん結んだ契約は、約束したとおりに履行しなければならないのだ。

クレジットカードで物を買う時は、どうだろう。誰とどのような約束をするのだろうか。約束を破ったら、どうなるのだろうか。



(4)テーマ「安全保障と沖縄」

講師：愛敬浩二 先生 (法学研究科助教授)

☆第4回：12月17日 (金) 14時～16時

\* 講義内容

「平和憲法」と呼ばれる日本国憲法の下で、なぜ沖縄が外国軍隊の存在に苦しめられているのか。憲法学と戦後政治史の知識を踏まえて、この問題を考えてみよう。その上で、沖縄の脱基地化を含めた平和の構想を展望してみたい。



(5)法学研究講座の概要について

第1回講座「説得の学問としての法律学」では、生徒によるロールプレーを取り入れて商法や民法の実際的な問題を参加者と考え討論をしながら法律学の基礎について学ぶことができた。

第2回講座「プロ野球選手のストライキ—プロ野球選手は労働者か—」では、野球という男子生徒には興味深い話題から労働法についてわかりやすく学ぶことができた。ちょうどプロ野球問題の直後と言うこともあり、参加者は熱心に講義に参加していた。

第3回講座「賢い消費者—カードの便利さと怖さ」では、現役の弁護士であり法学研究科で教えている先生から直接弁護士の仕事内容も含めてお話を聞くことができた。この講座では、ディスカッション形式を取り入れて、参加者が積極的に講座に参加できた。

第4回講座「安全保障と沖縄—沖縄から考える平和と憲法」では、憲法学の先生から憲法と沖縄問題についてお話を伺った。この講座もディスカッション形式を取り入れ生徒による話し合いも行われた。沖縄問題では、本校高校2年で「沖縄研究旅行」を実施しているので高校生の関心も高かった。

参加者の感想より

12月第1回 (通年第6回) 学びの杜 感想

2004. 12. 14 (火)

「説得の学問としての法律学」

中東正文先生

・生徒さんたちの意見が聞いておもしろかったです。

“疑う”ことが大切なことで自分なりに中身を考えて

みる必要があると思いました。

楽しくて時間があっというまに過ぎました。日ごろ深く考えないことを考えることができてよかったと思いました。(保護者)

- ・例題を使いながら参加型の講義でわかりやすくてよかったです。(保護者)
- ・“ただ一つの答などない”というのが新しい発見だった。解釈の仕方は難しいが、六法全書を全部覚えなくてはいけないのかしら？お話が上手く楽しく聞けました。(保護者)
- ・最初の生徒の寸劇がおもしろかったです。生徒ががんばっている様子がよくわかりました。(保護者)
- ・ディスカッションと先生のお話がおもしろかったです。法律はすごく身近で思っていたより深いなあと思いました。初めての学びの杜だったけど、思っていたよりおもしろかったです。法律に興味があったので、参加できて嬉しいなあ—と思いました。  
今度機会をつくって本当に見学に行かせて欲しいです。本当に！(中3女子)
- ・過去問題でのディスカッションが楽しかった。(娘と意見が違った点も)法律の考え方が一方向のみでない点が印象に残った。婚姻約束=婚約、自分自身で経過した道なのですが知りませんでした。また中・高の方でも講師をしてください。(保護者見学可で)(保護者)
- ・母と激論したのは、聖徳太子は宇宙人かどうかを論争して以来だった。  
また来てお話をしてください。(中2女子)
- ・ディベートをしたことや、法律の視点から見ることでできたことが印象に残った。法律はとても難しいと思いました。でも、自分で考えるということはとてもたいへんだったけど参考になりました。少しだけ、契約ということがよくわかってよかったです。法律は正しいとは限らないのだと思いました。(中3女子)
- ・店で売る人が売りたいと言え、買えないというところが印象に残った。酒屋の話で法律上9万円請求できることにびっくりした。(中2男子)
- ・店が買わせないことができることが印象に残った。非常にわかりやすくてよかったです。法律のトリビアをいろいろ教えていただいてありがとうございました。  
(中2男子)
- ・法律は決してかたよったものではなく、内容を考えればまだまだ変えていく必要もあるのだということが非常に興味深かった。法律が身近な存在であることを改めて思った。法律学ということは存外発想の余地があるということに非常に興味をもった。法律は生活に身近なもので、もっともっと積極的に考えていき、変えていきたい。→そんな地位につけるかどうか？(中2男子)
- ・ルールの中身が大事。ルールを決めてあることが大

事、ということが印象に残った。中学生の意見がしっかりしていてびっくりした。法律を考える上で多方面からの意見を言えることは強みだった。

とてもわかりやすかったです。余談ですが、左側通行は江戸時代、武士が左側通行だったからだという説もあるそうです。(右側通行だとさやがあたり、死闘になるからだそうです)法学部の先生と一緒に裁判ウォッチングしたいです。(高2男子)

- ・申し込みの誘引、正当化のメタ進行を止めるのは法であるということ、が印象に残った。  
とてもわかりやすかったです。具体例をあげてくださった点がよかったです。法律=説得の学問とするなら、いかに自分の意見がもてるかということが重要だと思いました。ありがとうございました。(保護者)
- ・いろいろな所で、法律が関わっていたのは、すごく興味深かった。店に並べてある商品に関することと、桃太郎の独唱が印象に残った。  
とてもわかりやすく、法律が少しだけでも理解できるようにと一生懸命に楽しくおもしろく教えていただきとてもよい経験となりました。先生に贈与契約は、口約束では簡単に破棄できると教えてもらったので、いろいろな人実践してみたいです(ウソですよ)。ありがとうございました。(中2男子)
- ・「契約」とはということが印象に残った。先生の出されることをきっかけに皆で議論できることが—そのように仕向けられる先生のやり方が大変興味深かった。生徒さんの人数は少なめでしたが、活発な議論になり、おもしろく楽しませていただきました。法学部の学生でもない、中高生を実に巧みに内容に引き込み、議論に取り込んでいたから、法律学のおもしろさと同時にたいへん興味深い2時間でした。ありがとうございました。(保護者)
- ・問題の答が自分の思ったこととまったく逆になってもとても納得ができた。特に店の売買についてが心に残った。物ごとや問題が発生した時に、今日習ったことと照らし合わせて自分なりに理解してみるのが楽しみです。日常の自分の生活をもう一度考えなおしてみます。  
楽しかったです。今日の講習でさらに興味が深まりました。また機会があればぜひお願いします。(中2男子)
- ・最後の議論がおもしろかった。意外な答だったので、びっくりした。法律の活躍する場が身近にあることに気づいた。  
楽しかったです。また、機会があればこのようなことを詳しく聞きたいです。(中2男子)
- ・法には決めてあることが重要な法律と中身が重要な法律の2つあること、婚約=婚姻予約ということが印象に残った。意見をたくさん言わせていただけて嬉し



かった。私でもわかりやすい内容でよかった。初めて学びの杜に参加して軽い気持ちだったけど、すごく楽しかった。先生がユーモアたっぷりだった。とてもおもしろかったです。(プリントの文を読んだときから)意見をたくさん聞いていただき嬉しかったです。議論をすることは法律だけでなく、いろんなところで意義のあるものだと感じました。私も法に挑戦というかプラスアルファをしていくことが必要だと思いました。(保護者)

## 12月第2回(通年第7回)学びの杜 感想

2004. 12. 15 (水)

### 「プロ野球選手のストライキ

—プロ野球選手は労働者か— 和田肇先生

- ・とてもわかりやすく、楽しい講義をありがとうございました。自営業と勤労者では、保険がそれぞれ違うということを知り、驚きました。ちなみに私の家は自営業なので、生徒手帳にも「国民健康保険」と書いてあります。(中1女子)
- ・ストライキの仕組みがよくわかりました。なんか、自営業なのに、労働組合ってというのがややこしいと思った。次回からの公開講座に行きます。(高2男子)
- ・プロ野球選手は自営業になるということが印象に残った。全体的にすごくわかりやすかった。難しい内容もあったけど、これからすこずつ理解していきたい。今回の講義で、法律についての興味が大きくなった。将来、そういう分野に進んでもいいなあと思った。(中3女子)
- ・「疑わしきは罰せず」という言葉とその存在理由が印象に残った。話についていけなくなることもあってたいへんでした。難しかったけど、その分学ぶこともあったのでよかったです。(中3女子)
- ・先生の理解しやすい教え方がとても印象に残りました。(保護者)
- ・弁護士が医者と同じところが印象に残った。(中2男子)
- ・選手のストライキが正しいことがわかって面白かった。身近な問題を法律上でどうなのか説明してくれてよかった。でも、もう少しわかりやすくしてほしい。(中1男子)
- ・プロ野球界の仕組みが今まで以上にわかってよかったです。(中1男子)
- ・法学は奥が深いが今後裁判が身近になっていくので、より学ばないといけないなと不安に感じた。(高2男子)
- ・プロ選手は自営業か労働者かがおもしろかった。いろいろな説明がとてもわかりやすくておもしろかった。例があつてよく理解できたし、裁判の話とかもあつて、とても興味深かったです!またお話を聞きたいで

す!(中2女子)

- ・わかりやすい例をあげて説明していただいたので、わかりやすかった。(中1男子)
- ・選手は自営業だけど、まとまると労働組合になることが印象に残った。(中1男子)
- ・いろいろとわかりやすかった。不法行為と債務不履行の違いがまだよくわかっていないのが心残りだった。(中2男子)
- ・委託業務をしている人も自営業者扱いであることが印象に残った。プロ野球って奥が深いなと思った。陪審員制度は反対です。日本がおかしくなるのでは。(高2男子)
- ・先生がおもしろかった。とてもわかりやすくてよかった。(中3男子)
- ・自営業なのに団体交渉ができるということが印象に残った。法律と違ってその考えにたどり着いた過程が大切であるのではと思いました。答より根拠重視ということ。だから裁判所という機関が成立するのだと思います。初めて学びの杜に参加しました。今まで興味はあったのですが、難しそうなテーマばかりでなかなか気が向きませんでした。でも今日のテーマ「プロ野球のストライキ」はとても身近な感じがしたので(私はプロ野球が好きなので)参加させていただきました。とても興味深いお話で、少し法律が身近な存在になりました。楽しかったです。1つのテーマに対して様々な立場の先生(例法学部と経済学部)がそれぞれの専門分野のお話をしていただけるような機会があれば嬉しいです。(高1女子)
- ・法を学ぶことが生活を円滑に進めていくよい香辛料になるんですね。(高2男子)
- ・野球選手が立場としては自営業なのに、労働組合に入っていることが印象に残った。今回、私が興味をもっているテーマなので、初めて参加しました。全然知らないことばかりで、とても熱心に聞かせていただきました。法律に関心があるので今回のようなものをまた開催して欲しいと思います。(高1女子)
- ・以前テレビで「プロ野球選手のスト」のニュースがよく放送されていたけど、そのときは特に何とも思っていなかったけど、今回お話を聞いて関心をもちました。とてもわかりやすい講義で、以前より知識が増えました。以前よりも法律というものは身近なものであると感じることができ、ますます興味がわきました。

## 12月第3回(通年第8回)学びの杜 感想

2004. 12. 16 (木)

### 「賢い消費者—カードの便利さと怖さ—」 藤田哲先生

- ・弁護士の仕事とお金の貸し借りなどがおもしろかった。少し難しい専門用語がでてきたけど、他は実際に

- 時計などを例にして説明して下さったので、わかりやすかった。法律はややこしいところもあるけど面白いなあと思った。裁判員のことは前から知っていましたが、より詳しく知ることができました。それに、法律はややこしいと思っていたけど、少し興味がわいてきました。ありがとうございました。(中1女子)
- ・印1つだけで、契約が完了してしまうということが印象に残りました。カードで何かを買ってもカード会社にお金を払っていなかったら、自分のものではないということがわかった。(自分の初めの予想はすぐ自分のものになると思った) いろいろな裁判のことなど、まったくとっていいほど知らなかったのが、勉強になりました。(中1女子)
- ・ヤミ金とかの金貸し業者についてがおもしろかった。全体的にたまってよかった。非常に興味深かったです。とても勉強になりました。ありがとうございました。(高2男子)
- ・カード破産についての話が印象に残りました。知っているようで知らないことが多く、勉強になりました。とても丁寧に教えていただいたので、将来必ず役立てることができると思います。ありがとうございました。(中2男子)
- ・破産についてと刑事事件と民事事件がおもしろかった。今回は3回受けた中で1番興味があったので、その分楽しかったです。ただ、もう少しあてて欲しかったかも。弁護士への興味がふえたなあと思います。(中3女子)
- ・民事裁判、刑事裁判のことと、売買契約がやぶれるか、やぶれる条件などがおもしろかった。難しかったですけど、おもしろかったです。とても自分のためになりました。将来役に立つと思いました。とてもためになるお話ありがとうございました。(中3女子)
- ・破産のことがおもしろかった。初めて弁護士さんと弁護士バッジを見て感動しました。カードも借金と同じという感覚がまったくなかったのが、驚きました。ありがとうございました。(高2男子)
- ・カードについて詳しくわかってよかった。(中2男子)
- ・日本に弁護士さんが2万人ちょっとしかいないことが印象に残った。「約束したことは守らなくちゃいけない」ということを知って、これからは気をつけなさいいけないと思った。(中1男子)
- ・具体的でおもしろかった。もっといろいろな例が聞きたかった。(保護者)
- ・いろいろ時計やモンブランのペンなど具体例を使って話しをしていただいたので、よくわかった。今はまだ、どんな仕事があってどんな働きをしているのか知らなかったのが、今日の先生の話がためになりました。モンブランのボールペン欲しいです。今日はありがとうございました。(中1男子)

- ・売買と譲渡の契約の違いが印象に残った。具体的でおもしろかった。レジュメに沿ってないようで結局同様な内容で、珍しい授業でした。(保護者)
- ・自己破産について間違っていて解釈していることがあるとわかりました。(保護者)
- ・以前クレジットカードを2枚もって、使い分けていましたが、請求書が来たときに残高不足になりそうで、あわてて入金したことがあり、カード=借金であることと認識して解約しました。今は現金払いですが、そのときに解約しておいてよかったと思っています。(保護者)
- ・契約のいろいろなことがおもしろかった。普段聞けない話が聞けてとてもよかったと思う。(中3男子)
- ・契約破棄の仕方が印象に残った。無知は怖いと思いました。生きていくために法律を学ぶことが大事だと思いました。(高2男子)

#### 12月第4回(通年第9回) 学びの杜 感想

2004. 12. 17 (金)

##### 「安全保障と沖縄」

愛敬浩二先生

- ・昔々(?! )習った「歴史」の知識と新聞そのほかの報道での情報と切れ切れにもちつつ、難しい問題だ! と思っていたことを1本筋の通ったものにしてもらったと思います。また、知らなかったことも、考えたこともない視点でのお話もたいへん興味深く意義のある2時間でした。ありがとうございました。(保護者)
- ・今まで沖縄の基地などの問題のことは耳にしたことはあったけど、講義を聞いて新しく知ったこともあった。それと、そのような問題に対しての自分なりの意見を質問されると、とまどってたいへんだった。なので、これからは、もっと身の回りのニュース等にも関心をもち、しっかりとした、根拠のある自分の意見をもつようになりたいと思いました。本日はどうもありがとうございました。(中1女子)
- ・「沖縄には基地がある」ぐらいしか知らなかったのが、このような状況だったとはびっくりでした。講座で聞いて、なんだか米軍に腹立たしくなってきました。研究旅行のときには、しっかり見てきたいです。沖縄について何も知らなかったのが、このようなことが今も実際に起こっているとは驚きでした。わかりやすい説明をありがとうございました。(中1女子)
- ・研究旅行で学んだ成果がでていて、全体にわかった。(高2男子)
- ・研究旅行での理解が深まりました。(高2男子)
- ・日本もイラク戦争に加担しているということを知ると、日本がアメリカ基地を無償+援助金を与えていることが印象に残った。沖縄の基地の実態を詳しくわかりやすく教えていただきありがとうございました。(中2男子)

- ・今まで沖縄に基地が多いことは知っていたのですが、基地の中に沖縄があるというのは本当にびっくりしました。(中1女子)
- ・もっと生徒間で話し合いをしたかった。ぼくたちもこれから沖縄に目を向けていきます。(高1男子)
- ・他の人たちの知識に感心させられた。法学と哲学がどこかしらにかよっている気がした。法学は難しい…。本当にありがとうございました。(高1男子)
- ・本土決戦のために沖縄を犠牲にしたのは、初めて聞いたけれど、とても腹立たしいことだと思った。わかりやすい説明でとてもいい授業でした。ありがとうございました。(高1男子)
- ・法の解釈はその人々によって違うと思った。沖縄は日本ではないのだろうかと思った。沖縄も日本だ!! (高1男子)
- ・沖縄にたくさんの基地がある訳と沖縄の事件が印象に残った。沖縄のことについてとてもよくわかってよかったです。沖縄の人々はとても苦労しているのだと思った。(中3女子)
- ・“本土並み”という意味についてが印象に残った。沖縄

独立の日・・・読んでみたいです。

楽しく聞けました。もっと勉強したくなりました。今回の続きが聞きたいです。(保護者)

- ・沖縄が実際的なアメリカの支配下にあるのに日本が金を払っているのに強い疑問がある。(中2男子)
- ・共存するという意味から考えることがおもしろかったです。同じ日本人として深く考えなければならないことばかりでした。沖縄の基地問題についてあらためて、娘と考える機会ができたことを感謝しています。(保護者)

#### 4 平成17年度「学びの杜」単位化への取り組みについて～学びの杜「総合コース」から「学術コース」へ～

今年度の連続講座の取り組みから、来年度は単位を認定する「学びの杜・学術コース」を開催することとなった。教育発達科学研究科を中心とした心理学講座、教育学講座。理学研究科の理学講座、法学研究科の法学講座の4講座が開講予定となっている。講座の概要については以下の内容である。

#### 前期 心理学探究講座予定

回	月日	担当者	講義テーマ	講義内容
1	5/14	河野莊子	思春期ってどんな時期	高校生は思春期といわれる時期。心の中に何が起きているかのぞいてみよう
2	5/21	高井次郎	人間って皆同じなんだろうか	文化によって人間の心理的プロセスや行動がどのように異なるのか検討してみよう
3	5/28	河野莊子	「キレル」ってなんだろう?	「キレル」とは心理学ではどういう心の状態をいうのかを考えてみよう
4	6/11	平石賢二	私らしく生きるとは	私らしさとはそもそも何なのか、どのように形成されるのか、という問題について検討してみよう
5	6/25	吉田俊和	友だちになっている理由	なぜ、今つきあっている人が友だちなのかを考えよう
6	7/9	金井篤子	キャリアって何だろう	キャリアについて心理学的視点から考えてみよう
7	7/16	高井次郎	進路を考えてみよう	自分のキャリアを展望しながら、進路を少し考えてみよう
8	7/23	高井次郎	人種差別問題を考えよう	人種差別の背景にある心理的・社会的な要因を追求しよう
9	9/3	平石賢二	親子の絆・家族の絆	親子関係、家族関係について心理学的視点から考えてみよう
10	9/10	吉田俊和	人を説得するということは	どのような説得の仕方が有効かを考えてみよう

担当部局一教育発達科学研究科

夏休み 教育学探究講座予定

回	月日	担当者	講義テーマ
1	7/25	的場正美	受講ガイダンス 教育科学のフロンティア
2	7/26	的場正美	エスノグラフィと教育学
3	7/27	吉川卓治	歴史のなかの附属学校
4	7/28	松下晴彦	身体の加工と〈眼差し〉の形成
5	7/29	横山悦生	北欧の教育について
6	8/1	牧野 篤	日中両国の自己表現
7	8/2	服部美奈	フランスのスカーフ問題から学校教育と衣を考える
8	8/3	近藤孝弘	歴史はなぜ教えられるのか
9	8/4	南部初世	こんな学校だったらいいな！
10	8/5	的場正美 柴田好章	反省知の現在

担当部局—教育発達科学研究科

後期 理学探究講座予定

回	月日	担当者	講義テーマ	講義内容
1	10/22	福井康雄	序章	全体の導入、講座の狙いの解説
2	10/29	福井康雄	第1章 宇宙誕生	137億年まえのビッグバンによる宇宙誕生の解説
3	11/5	福井康雄	第2章 銀河誕生	星のあつまり、銀河の形成を解説
4	11/12	福井康雄	第3章 星誕生	太陽のような恒星の誕生
5	12/10	福井康雄	中間まとめ	以上3回分の復習と整理
6	12/17	福井康雄	第4章 惑星誕生	地球、木星などの惑星系はどのように作られたか
7	1/7	福井康雄	第5章 太陽系誕生	小惑星や彗星から太陽系の形成について何が分かるか
8	1/28	福井康雄	第6章 生命誕生	生命の誕生はどこまでわかったか
9	2/4	福井康雄	第7章 暗黒宇宙を照らし出す最新 テクノロジー	宇宙を観測する技術はどのようなものか
10	2/11	福井康雄	全体まとめ	講座の総まとめ

担当部局—理学研究科

後期 法学探究講座予定

回	月日	担当者	講義テーマ
1	10/15	中東正文	法というものの考え方
2	10/15	中東正文	憲法の成り立ち
3	10/29	愛敬浩二	憲法の基本的人権
4	10/29	本 秀紀	平和と国際機関
5	11/12	石井三記	ナポレオン法典
6	11/12	榊原文夫	大岡裁き
7	11/19	和田 肇	労働法とは
8	11/19	和田 肇	働くルール
9	12/10	藤田 哲	賢い消費者
10	12/10	大屋雄裕	情報化社会と法

担当部局—法学研究科

(山田 孝)